

プラント状況（本店レク）議事メモ

日時：平成 23 年 4 月 4 日（月）11:45～12:40

場所：東京電力本館 1 階 101AB 会議室

先方：記者約 60 名（カメラ 6 台）

当方：原子力設備管理部

本店広報部

配布資料：

- ・東北地方太平洋沖地震による影響などについて（4月4日 午前9時現在）
- ・福島第一原子力発電所モニタリングカーによる計測状況
- ・福島第二原子力発電所モニタリングによる計測状況
- ・福島第一原子力発電所仮設モニタリングポストによる定点計測状況
- ・福島第一原子力発電所 1～3号機プラント状況
- ・福島第一原子力発電所 1～3号機原子炉圧力容器周辺温度 [°C]

質疑：

Q. トレーサーの効果の確認は何時頃、どこで行ったのか。また、本日以降の止水対策はどうか。

A. 本日 11 時頃、水が海に流出する地点において、水が白く変わっていないことを確認した。また、昨日、管路とピットの境界線におが屑、新聞紙、ポリマーを投入しているが、本日午前 7 時頃に同地点を確認したところ、滞留しているような状況だったと聞いている。

止水対策としては、管路の下部に、水を通しやすい石の層があり、管路の下を通りいる可能性もあると考えており、今後、薬液を管路の下に注入することなども検討していきたい。

Q. 保安院がシルトスクリーンを設置するという話をしているようだが、どうか。

A. 汚染された水が海に流出していることは事実であり、外に流出しないような措置として流出した水を囲うようなスクリーンを設置することを検討している。

Q. 薬液の注入は建屋に近い上流部に行うのか。

A. 具体的な方法は検討中。

Q. 具体的な薬液はどのようなものか。

A. 水ガラス系の薬液を 2 種類混ぜるような方法を考えている。

Q. 海に流出している具体的な量は。勢いは変わらないか。

A. 現状把握できていない。勢いは変わっていない。

Q. シルトフェンスの導入時期や規模は。

A. 具体的な時期は未定。

Q. シルトフェンスは本来何に用いるものなの。

A. 海で工事をする場合に高じ箇所を取り囲むことで、濁り等の拡散を防ぐことに用いられる。

Q. 現地における具体的な囲み方についてはどうか。

A. 現在検討中。

Q. 海に出ている水は確実にピットを通っているのか。

A. それ以外の可能性も考えられる。

Q. トレーサーには何を用いたのか。材質は

A. 乳白色の入浴剤を用いた。

Q. ピット以外から流出しているという認識でいいか。

A. 管路付近から流出していると思うが、管路から大きく離れていないと考えている。管路の下部に水を通してやすい構造の石が敷いてあることから、そこからの可能性も考えられる。

Q. 水はどこから来ているのか。

A. 海水配管ダクトからきていると考えている。レンチから管路を通ってピットから流出していると考えていたが、具体的な部分は不明だが、碎石部分を通り流出していることも考えられる。

Q. 乳白色のトレーサーは、管路の下を通ったとしても、海に流れる部分から出てこなければおかしいのではないか。ポリマーや、新聞紙に吸着しているのではないか。

A. その可能性も含めて、よく検討していく。

Q. シルトスクリーンは密閉するような機能はないのではないか。

A. 出来るだけ効果が出るように考えたい。

Q. いろいろと対策を講じられているが、そもそも海に流出している割れ目の部分をどうするのか、という議論は無かったのか。

A. 作業条件もあり、今の段階としてはピットの水を止めるための方策を検討していくたい。

Q. 根本の部分は何もやうないということか。

A. まずは出ている水を止めることに注力したい。いくつかの可能性を考えているが、現時点では効果があると思われること実施している。

Q. 海洋汚染は国際社会からも大変注目されている。メッセージをいただきたい。

A. 地域の皆様を始め、海外の皆様にも大変なご心配、ご迷惑をおかけしており、お詫び申し上げる。事態の収束に向けて全力を傾けて参りたい。いずれにしても、ご心配、ご迷惑を丘系していることを重ねてお詫び申し上げる。

Q. 社長や会長が出てきて、この事態を説明すべきではないか。

A. 状況によって、と思うが、この場では何とも申し上げられない。

Q. 社長の病状はどうか。

A. 病状には変化がないと聞いており、退院のめどは立っていないと聞いている。

Q. このような対策内容で政府は了解しているのか。

A. 政府に対しては、逐次、報告・連絡・相談をさせていただいている。

Q. 福島原子力被災者支援本部を立ち上げたが、体調を崩されている清水社長を本部長としていいのか。

A. 清水は一時的に体調を崩しているものの、復帰後速やかに指揮をとる見込みであるため、社長の清水を本部長とするのが妥当と考えた。

Q. 社長は入院中だが、その時点でも逐次指示を出していることに変わりはない。

A. 詳細は確認はしていないが、病状の回復に努めている。

Q. 仮設タンクの設置にかかる具体的な期間は。

A. 日程的に具体的なことは申し上げられない。

Q. シルトスクリーンはどこから調達する予定か。

A. 外部から調達することとなるが、詳細は検討中。

Q. 設置目処は。

A. できるだけ早く設置したいと考えている。

Q. シルトスクリーンはどのくらいの水をせき止めることができるのか。

A. 仕様も含めて検討中。

Q. 湾内のどこにシルトスクリーンを設置する予定か。

A. 取水口の前の池のようになっている箇所に設置することを検討している。

Q. シルトフェンスの提案は東電と政府どちらから提案したのか。

A. 統合本部の中で相談して決めたもの。

Q. 管路の下の敷石とは。

A. 管路の下に細かい石を平らに敷き詰めた層。

Q. 海水配管ダクトの水位は。

A. 昨日の21時時点では変化はない。

Q. 海洋汚染については条約で正しい情報を早く発信しなければならないと決められて

いるのではないか。

A. できる限り早く正確な情報発信に努めてまいりたい。

Q. 3/28 に実施している土壤プルトニウムの分析結果は。

A. 銳意取り組んでいるところ。遅れていて申し訳ない。

Q. 従来の分析方法でかまわないので暫定版の分析結果をいただきたい。

A. 確認させていただく。

Q. 1号機のパラメーターについて、注水量を絞っているのに対し、炉圧が減少し、給水部が高温でボトム部が 100 度強で落ち着いていることから想定できる炉内の状況について詳細を教えていただきたい。

A. 確認させていただく。

Q. 3号機の圧力抑制室の圧力がほぼ大気圧となっていることからどのような状態が想定されるのか。

A. 確認させていただく。

Q. シールドスクリーンの効果はどのようなものと考えている。

A. 通常は、汚れた水を通さないようにするために使用されているものである。

Q. 現在検討しているシールドスクリーンのスペック等を教えていただきたい。

A. 確認させていただく。

Q. 仮設タンクのスペック等も教えていただきたい。

A. 確認させていただく。

Q. 敷石層の厚さと必要な薬剤の量は。

A. 20 センチ程度だが詳細は確認させていただく。薬剤の量は現在検討中。

Q. 過去にストロンチウムは検出されているのか。

A. 確認させていただく。

Q. 政府がプラントを特殊な布で覆うことを検討しているとの報道があるが、事実関係は。

A. 確認させていただく。

以 上

[H23. 4. 3 0:30~1:20]

Q. 武藤副社長の会見で、格納容器から水は外に出ていない、と発言していたが、その認識が今回のような対応の遅れにつながっているのではないか。武藤副社長のコメントをもらいたい。

Q. 敷地内の放射線量を図示して提示してほしい